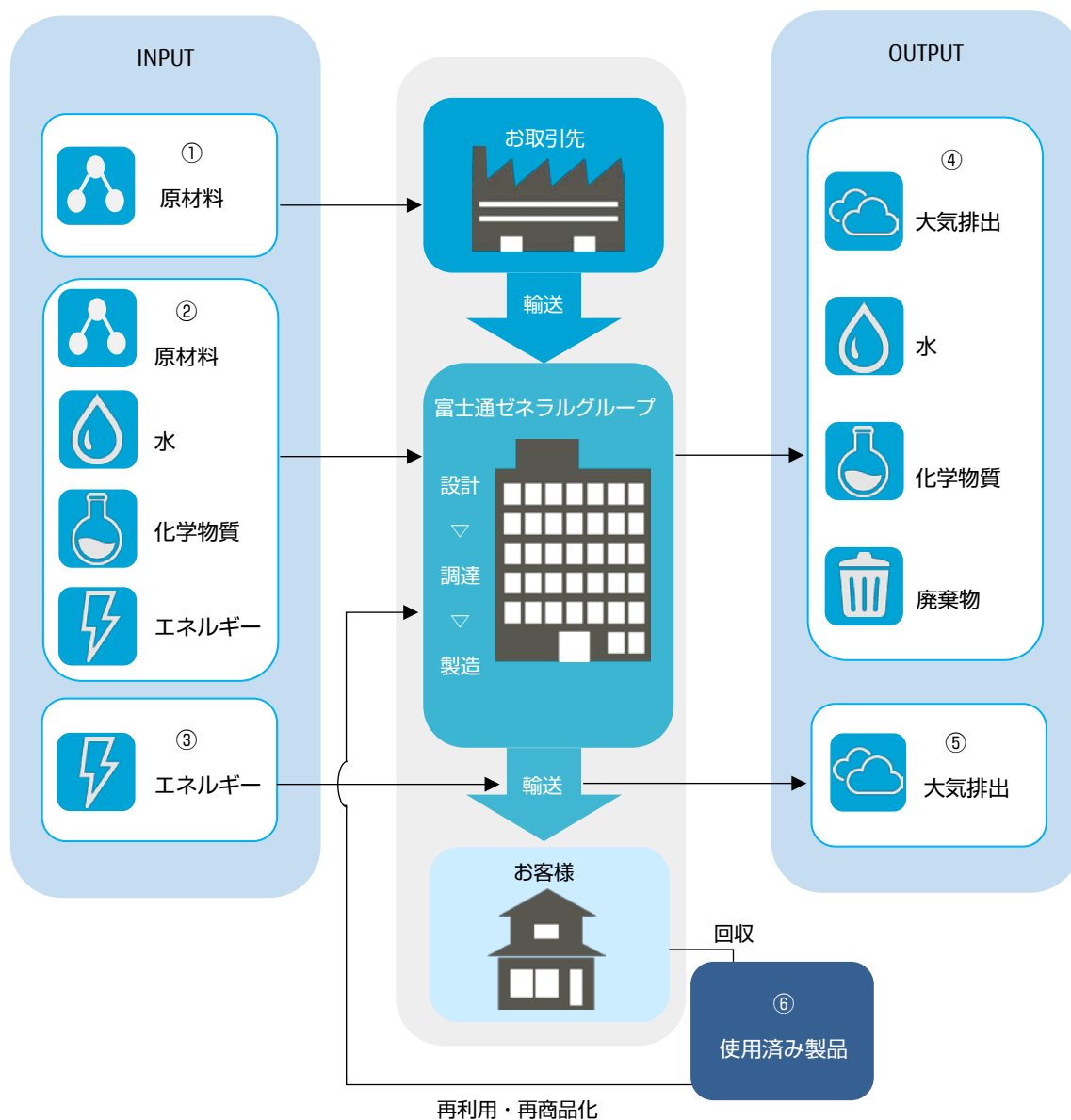


# データ集

## 環境パフォーマンスデータ

### マテリアルバランス (2017年度実績)



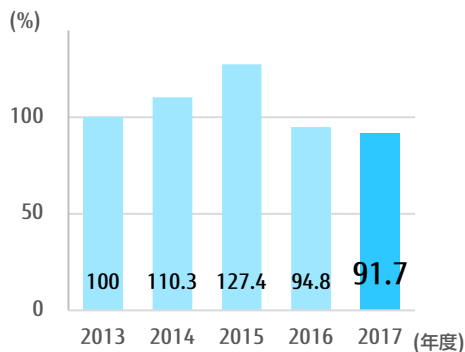
#### INPUT/OUTPUT データ

① ② 設計・調達・製造		③ 物流		④ 設計・調達・製造 (続き)	
<b>原材料</b>		<b>エネルギー</b>		<b>化学物質</b>	
金属	95,910 t	燃料	25,499 GJ	PRTR	2.05 t
プラスチック	24,425 t	<b>④ 設計・調達・製造</b>		<b>廃棄物</b>	
その他	8,698 t	大気排出		総排出量	10,156 t
<b>化学物質</b>		温室効果ガス排出量合計	79,343 t-CO <sub>2</sub>	最終処分量	599 t
PRTR	2.43 t	CO <sub>2</sub>	38,425 t-CO <sub>2</sub>	<b>⑤ 物流</b>	
水	465 千m <sup>3</sup>	CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス	40,918 t-CO <sub>2</sub>	<b>大気排出</b>	
エネルギー		NO <sub>x</sub>	2.1 t	CO <sub>2</sub>	1,809 t-CO <sub>2</sub>
合計	877,747 GJ	SO <sub>x</sub>	0.1 t	<b>⑥ 再商品化</b>	
電力	74,075 MWh	水 (排水量)		処理量	15,012 t
石油類	161 kℓ	合計	437 千m <sup>3</sup>	当社製品への再利用	117 t
LPG	2,417 t	BOD	0.03 t	その他の再利用	13,210 t
都市ガス	294 千m <sup>3</sup>	COD	0.02 t	フロン再生量	105 t

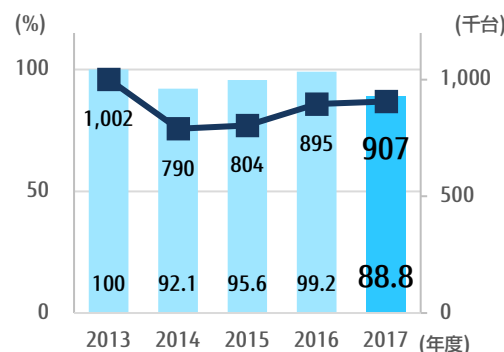
## 環境行動計画：温室効果ガス原単位管理



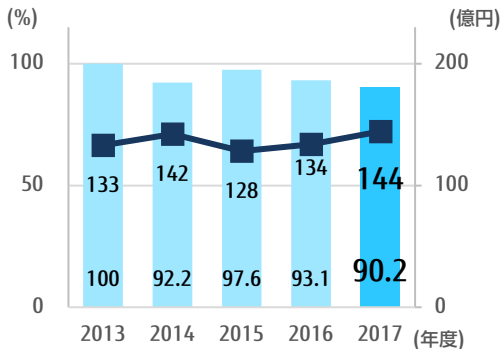
■評価試験設備の電力使用量



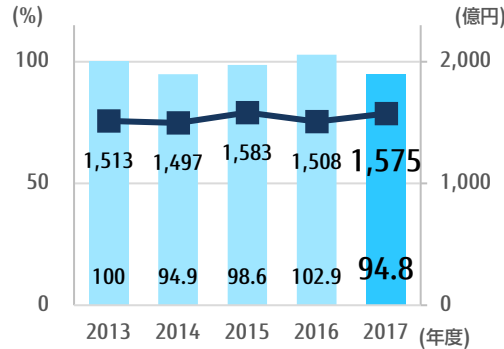
■日本国内の製品物流に伴う温室効果ガス排出量 (推定値)



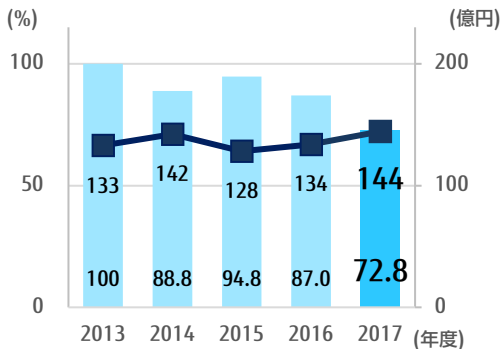
■国内生産拠点の電力使用量



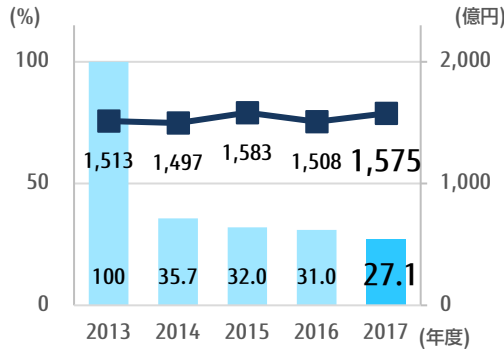
■海外生産拠点の電力使用量



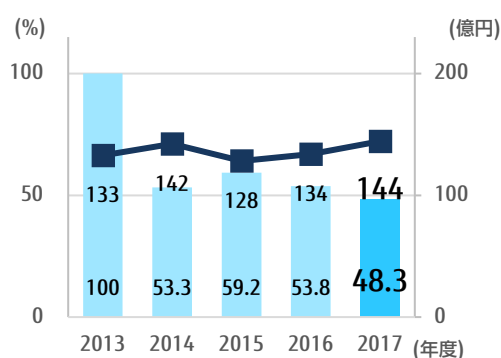
■国内生産拠点の石油類使用量



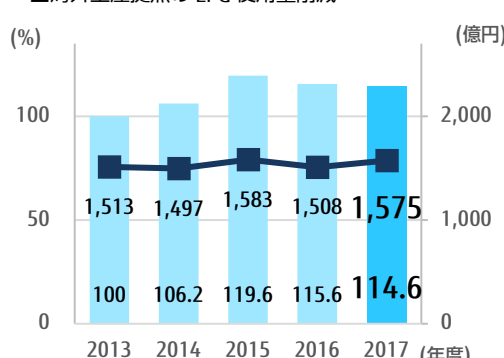
■海外生産拠点の石油類使用量



■国内生産拠点のLPG 使用量削減



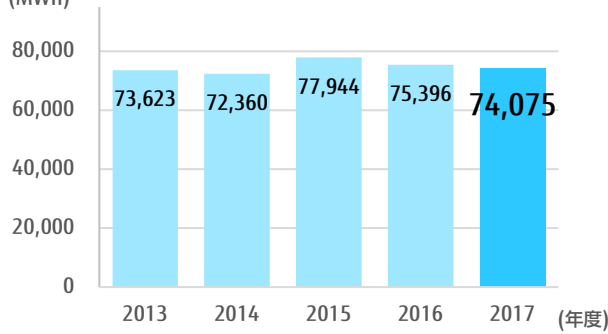
■海外生産拠点のLPG 使用量削減



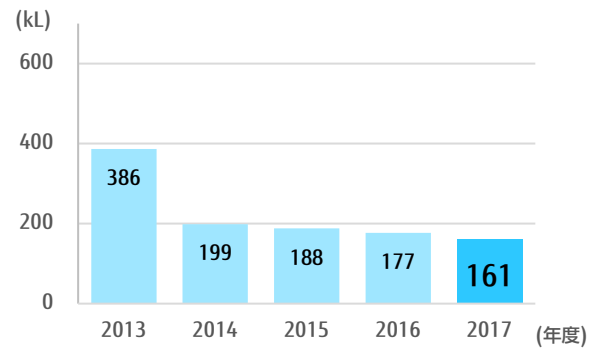
# データ集

## エネルギー

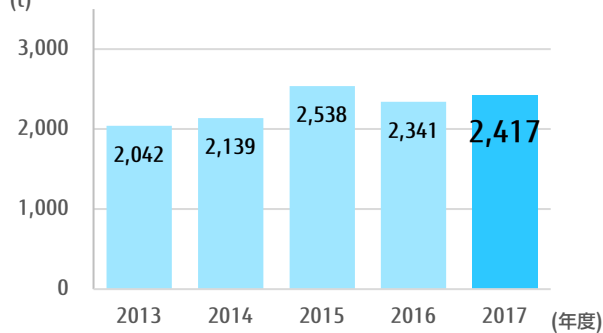
■電力  
(MWh)



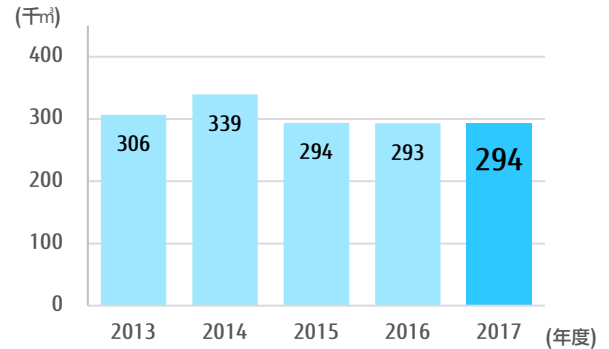
■石油類



■LPG  
(t)

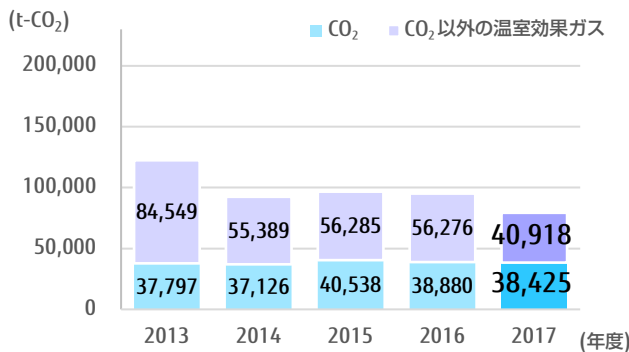


■都市ガス

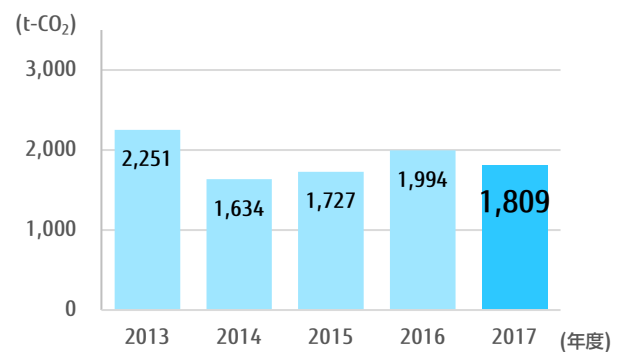


## 温室効果ガス ※

■事業活動に伴う温室効果ガスの排出量 (CO<sub>2</sub>換算)



■日本国内の製品物流に伴う温室効果ガスの排出量 (推定値)



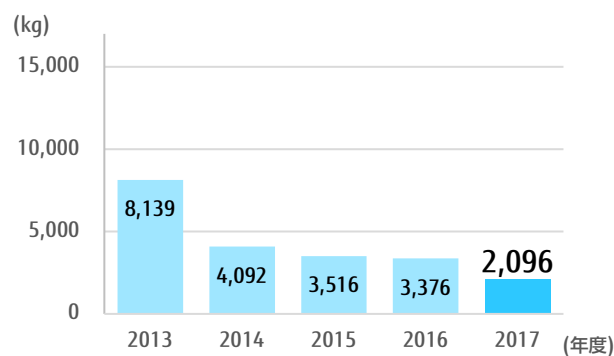
※ データを精査した結果、2017年度の報告書に掲載した実績数値を一部修正しました。

<訂正箇所> ■事業活動に伴う温室効果ガスの排出量 (2016年度実績) 38,026t-CO<sub>2</sub> → 38,880 tCO<sub>2</sub>

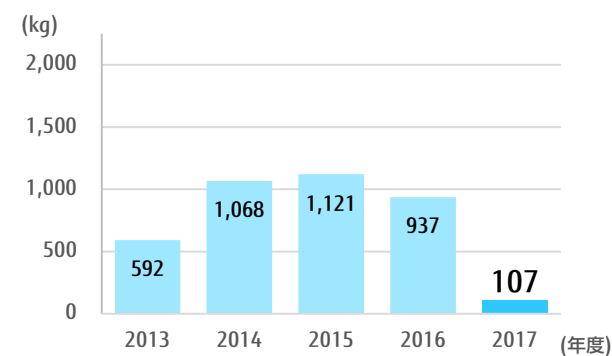
■日本国内の製品物流に伴う温室効果ガスの排出量 (2015年度実績) 1,740 t-CO<sub>2</sub> → 1,727 t-CO<sub>2</sub>  
(2016年度実績) 2,051 t-CO<sub>2</sub> → 1,994 t-CO<sub>2</sub>

## 大気排出

■窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)

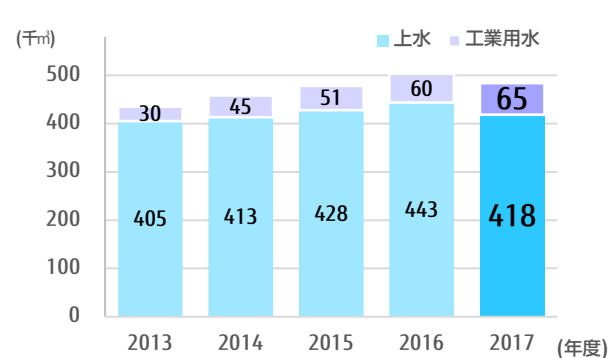


■硫黄酸化物 (SO<sub>x</sub>)

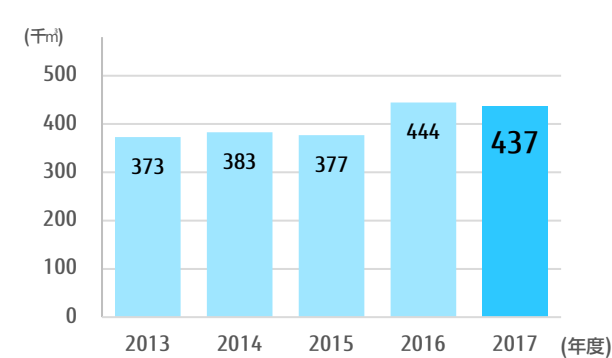


## 水

■使用量 ※



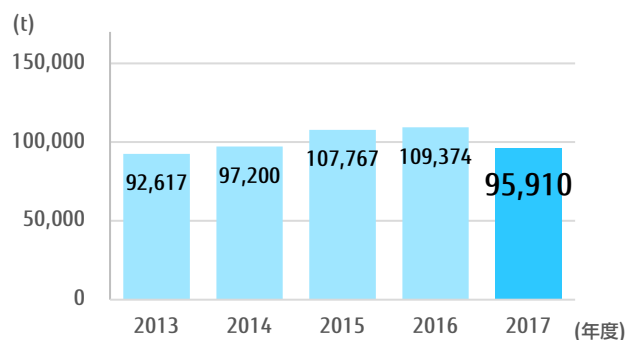
■排出量



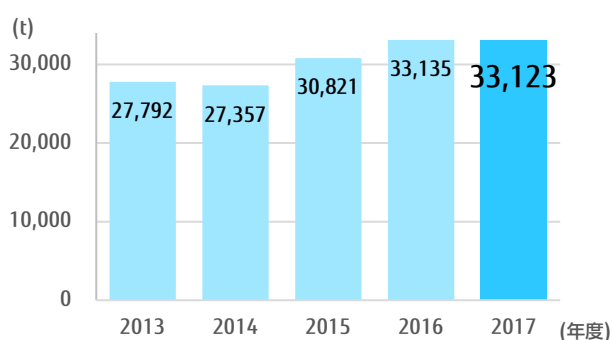
※ データを精査した結果、2017年度の報告書に掲載した実績数値を一部修正しました。  
 <訂正箇所> ■使用量 (2016年度実績) 441 千m<sup>3</sup> →443 千m<sup>3</sup>

## 原材料

■金属使用量



■金属以外 (プラスチック等) の使用量 ※

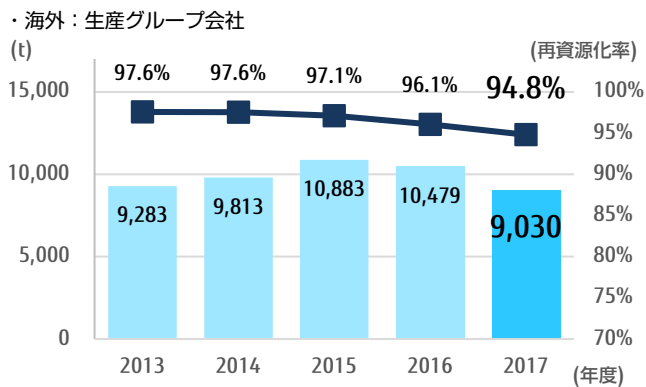
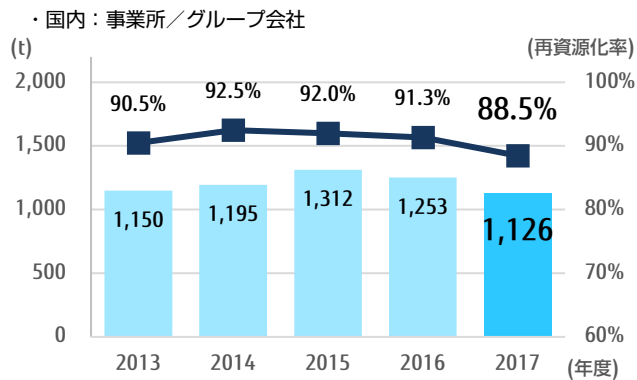


※ データを精査した結果、2017年度の報告書に掲載した実績数値を一部修正しました。  
 <訂正箇所> ■金属以外 (プラスチック等) の使用量 (2013年度実績) 25,379 t →27,792 t (2014年度実績) 24,501 t →27,357 t  
 (2015年度実績) 27,117 t →30,821 t (2016年度実績) 29,025 t →33,135 t

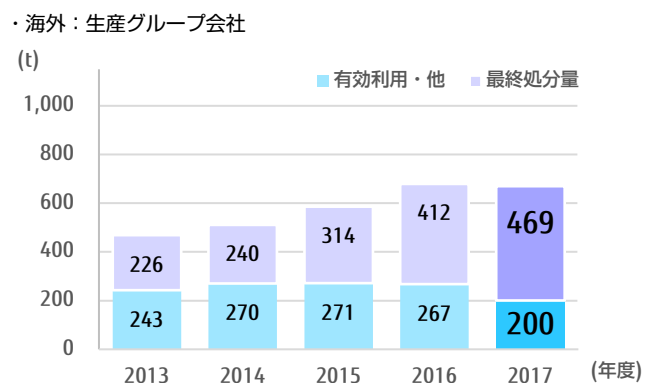
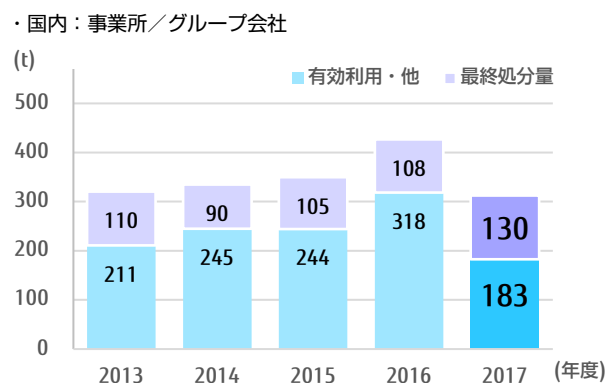
# データ集

## 廃棄物

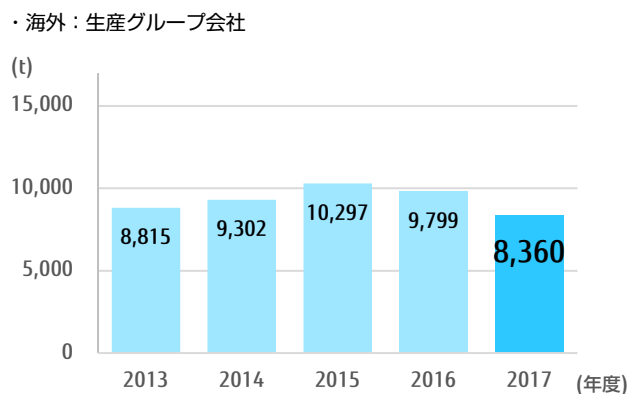
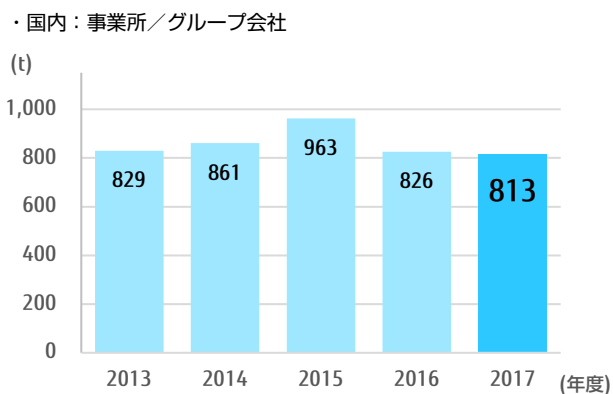
### ■廃棄物総排出量



### ■廃棄物量



### ■有価物量



## 化学物質取扱量（PRTR 法対象物質）（2017 年度実績）

化学物質名	CAS	取扱量
スチレン	styrene 100-42-5	1,897 kg
トリクレジルフォスフェート	tricresyl phosphate 1330-78-5	152 kg
トルエン	toluene 108-88-3	149 kg
メチレンビス	methylenebis 101-68-8	120 kg
鉛	lead 7439-92-1	115 kg

## 家電リサイクルの実績（2017 年度実績）

■ 詳細はこちらのページをご覧ください。

Web <https://www.fujitsu-general.com/jp/environment/recycle/home-electronics/recycle-report.html>

### ■ 再商品化等処理実績

項目	エアコン	テレビ		冷蔵庫・冷凍庫	洗濯機・衣類乾燥機
		ブラウン管式	液晶式・プラズマ式		
指定取引場所での引取台数	222,081 台	1,922 台	152 台	96,240 台	5,231 台
再商品化等処理台数	219,185 台	1,884 台	155 台	95,343 台	5,228 台
再商品化等処理重量	8,938 t	45 t	2 t	5,829 t	198 t
再商品化重量	8,449 t	34 t	2 t	4,658 t	184 t
再商品化率	94 %	76 %	89 %	79 %	93 %

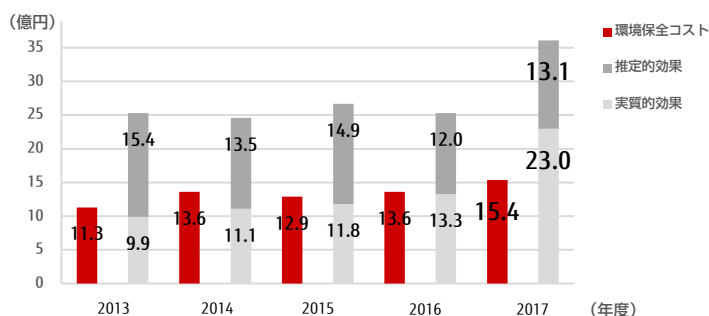
### ■ 冷媒フロン類の回収等の状況

	エアコン	冷蔵庫・冷凍庫
回収重量	145,089 kg	6,793 kg
破壊等委託先に出荷した重量	144,954 kg	6,718 kg
再生又は再利用した重量	102,288 kg	2,952 kg
破壊重量	40,987 kg	3,820 kg

## 環境会計（2017 年度実績）

項目	主な内容	費用
事業エリア内コスト	公害防止コスト	165
	地球環境保全コスト	520
	資源循環コスト	273
上・下流コスト	製品の回収・リサイクルなど	69
管理活動コスト	環境マネジメントシステムによる管理など	84
研究開発コスト	環境配慮製品の研究・開発など	427
社会活動コスト	自然環境保全のための寄付など	2
環境損傷対策コスト	土壌・地下水汚染に関わる修繕費	0
合計		1,540

項目	主な内容	効果
推定的効果	環境配慮製品の開発によるみなし効果など	1,312
実質的効果	有価物の売却益、VEによるコストダウン効果、余剰電力売却益など	2,298
合計		3,610



### 2017 年度のコストと経済効果

2017 年度は、環境保全コストが 15.4 億円（前年度比 13%増）、環境保全対策に伴う経済効果が 36.1 億円（前年度比 43%増）となりました。

2017 年度の特徴は、事業エリア内への太陽光発電システムの導入、間接部門の働き方改革に関する IT ツールの導入などにより、環境保全コストが増加しました。

また、太陽光発電による購入電力の削減や就業時間外に発電した余剰電力の売却益、川崎本社地区と浜松地区で行った新電力への切替による電力コストの削減などが新たな実質的効果として増加しました。

# データ集

## 環境パフォーマンスデータ算定基準

■ 対象期間：2017年4月1日～2018年3月31日

■ 集計範囲：富士通ゼネラルおよびその連結子会社（詳細：データ集「報告対象組織一覧」参照）

### マテリアルバランス

#### INPUT

指標	単位	算出方法	
原材料	t	原材料の年間購入量	
化学物質	PRTR対象物質取扱量	t	PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）対象物質のうち、事業所毎の年間取扱量が100kg以上の物質の取扱量の合計
水使用量	m <sup>3</sup>	上水、工業用水、地下水の年間使用量 （ただし、融雪用あるいは浄化対策で利用した地下水は対象外）	
設計・調達・製造	エネルギー消費量	Gj	（電力、燃料、ガスの年間使用量）×エネルギー毎の単位発熱量* *単位発熱量：環境省「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン（2007年）」による
	電力	MWh	電力年間使用量
	石油類	kℓ	A重油・灯油・軽油・ガソリンの年間使用量
	LPG	t	LPGの年間使用量
	都市ガス	m <sup>3</sup>	都市ガスの年間使用量
物流	エネルギー消費量	Gj	輸送トンキロ×改良トンキロ法燃料使用原単位×10 <sup>-3</sup> ×単位発熱量 （出典：経済産業省・国土交通省「物流分野のCO <sub>2</sub> 排出量に関する算定方法ガイドライン」）

#### OUTPUT

指標	単位	算出方法		
設計・調達・製造	大気排出	CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	（電力、燃料、ガスの年間使用量）×エネルギー毎のCO <sub>2</sub> 排出係数* *CO <sub>2</sub> 排出係数：電気事業連合会「使用端CO <sub>2</sub> 排出原単位」による 国内:0.407t-CO <sub>2</sub> /MWh（2002年度排出原単位）、海外:0.410t-CO <sub>2</sub> /MWh（2006年度排出原単位）
		CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス排出量	t-CO <sub>2</sub>	フロン年間排出量×温暖化係数* *温暖化係数：IPCC「気候変動に関する政府間パネル（第4次報告書）」
		NO <sub>x</sub> 排出量	kg	NO <sub>x</sub> 濃度×10 <sup>-6</sup> ×乾きガス排出ガス量×運転時間×46/22.4×10 <sup>-3</sup>
		SO <sub>x</sub> 排出量	kg	SO <sub>x</sub> 濃度×10 <sup>-6</sup> ×乾きガス排出ガス量×運転時間×64/22.4×10 <sup>-3</sup>
	排水	排水量	m <sup>3</sup>	公共用水域および下水道への年間排水量 （ただし、融雪用あるいは浄化対策で利用した地下水は対象外）
		BOD排出量	t	BOD濃度×排水量×10 <sup>-6</sup>
		COD排出量	t	COD濃度×排水量×10 <sup>-6</sup>
化学物質	PRTR対象物質排出量	t	PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）対象物質のうち、事業所毎の年間取扱量が100kg以上の物質の排出量の合計	
	廃棄物	最終処分量	t	一般廃棄物、産業廃棄物の有効利用量・廃棄処分量・有価売却量の合計 埋め立て等により処分される一般廃棄物、産業廃棄物量
物流	大気排出	CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	輸送トンキロ×改良トンキロ法燃料使用原単位×10 <sup>-3</sup> ×単位発熱量×排出係数×44/12 （出典：経済産業省・国土交通省「物流分野のCO <sub>2</sub> 排出量に関する算定方法ガイドライン」）
再商品化	処理量	t	再商品化等に必要な行為を実施した当社製品の総重量	
	当社製品への再利用	t	当社製品へ再利用された部品・材料の総重量	
	その他の再利用	t	当社製品以外に再利用された部品・材料の総重量	
	フロン再生量	kg	冷媒として使用されていたフロン類のうち再生又は再利用したフロン類の重量	

### 環境行動計画：温室効果ガス原単位管理

項目	指標	単位	算出方法
評価試験設備の電力使用量	評価試験設備における設備稼働率あたりの電力使用量削減率	%	当該年度の設備稼働率あたりの評価試験設備電力使用量/2013年度の設備稼働率あたりの評価試験設備電力使用量×100
生産拠点のエネルギー（電力・石油類・LPG）使用量	生産拠点における生産高あたりのエネルギー使用量削減率	%	当該年度の生産拠点生産高あたりのエネルギー使用量/2013年度の生産拠点生産高あたりのエネルギー使用量×100
国内製品物流に伴う温室効果ガス	国内製品物流における販売台数あたりのCO <sub>2</sub> 排出量削減率	%	当該年度の国内販売台数あたりの物流CO <sub>2</sub> 排出量/2013年度の国内販売台数あたりの物流CO <sub>2</sub> 排出量×100

# データ集

## 報告対象組織一覧

■ 報告対象組織：富士通ゼネラルおよびその連結子会社を報告対象としています。

ただし、環境パフォーマンスデータについては集計項目により一部対象が異なります。

会社名	環境会計	エネルギー	温室効果ガス		大気排出 NO <sub>x</sub> ・SO <sub>x</sub>	水			原材料	廃棄物	化学物質	
			事業活動	物流		使用・排水	BOD	COD				
株式会社富士通ゼネラル	川崎本社	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	青森事業所	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	浜松事業所	✓	✓	✓		✓	✓		✓	✓		
	松原事業所	✓	✓	✓		✓				✓		
	営業・サービス拠点 (56拠点)	✓	✓	✓	✓	✓				✓		
<b>国内グループ会社 (10社)</b>												
株式会社富士通ゼネラルエレクトロニクス	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
株式会社富士通ゼネラル情報システムズ	✓	✓	✓			✓				✓	✓	
株式会社富士通ゼネラルイーエムシー研究所	✓	✓	✓			✓				✓		
株式会社エコサイクル	✓	✓	✓				✓	✓		✓		
株式会社富士通ゼネラル研究所	✓	✓	✓		✓	✓				✓		
株式会社富士通ゼネラル設備	✓	✓	✓		✓	✓				✓		
株式会社富士通ゼネラルフィールドセールス	✓	✓	✓		✓	✓				✓		
株式会社イーエス	✓	✓	✓		✓	✓				✓		
株式会社富士通ゼネラルハートウェア	✓	✓	✓		✓	✓				✓		
株式会社清和会	✓	✓	✓		✓	✓				✓		
<b>海外グループ会社 (18社)</b>												
富士通將軍 (上海) 有限公司	✓	✓	✓			✓			✓	✓		
富士通將軍中央空調 (無錫) 有限公司	✓	✓	✓			✓			✓	✓		
無錫富士通將軍機電工程有限公司	✓	✓	✓		✓	✓			✓	✓		
江蘇富天江電子電器有限公司	✓*											
Fujitsu General (Thailand) Co.,Ltd.	✓	✓	✓		✓	✓			✓	✓		
FGA (Thailand) Co.,Ltd.	✓	✓	✓		✓	✓			✓	✓		
Fujitsu General Engineering (Thailand) Co.,Ltd.	✓*	✓	✓			✓						
Fujitsu General America, Inc.	✓*	✓	✓									
Fujitsu General do Brasil Ltda.	✓*	✓	✓			✓						
Fujitsu General (U.K.) Co.,Ltd.	✓*	✓	✓									
Fujitsu General Air Conditioning (UK) Ltd.	✓*	✓	✓				✓					
Fujitsu General (Euro) GmbH	✓*	✓	✓				✓					
Fujitsu General (Middle East) Fze	✓*	✓	✓									
Fujitsu General (Asia) Pte. Ltd.	✓*	✓	✓									
Fujitsu General (Aust.) Pty Ltd.	✓*	✓	✓				✓					
Fujitsu General New Zealand Ltd.	✓*	✓	✓									
富士通將軍東方國際商貿 (上海) 有限公司	✓*	✓	✓				✓					
Fujitsu General (Taiwan) Co.,Ltd.	✓*	✓	✓				✓					

\*：維持管理費、環境に関する経費については対象外